



雛 -Hina-

男ばかり3人兄弟の、年の離れた末っ子だった私は、  
母からよく赤い服を着せられていた。

ひな祭りの頃には、当然のように古いひな人形を飾り、  
お道具を触って一人遊びをしていた。

それが当たり前だと思っていた。

いまでもひな人形をみると、その前でずっと座っていたくなる。  
多分、これからさきも、それは変わらないだろう。



### 貝合わせ

展示物には源氏物語の場面が描かれていた。



### 御殿雛

西日本はこの御殿雛が主流だったらしい。  
京都に来て、十数年経った頃に始めて目にして驚いた。



組み立てるのに1日かかりそう。



鏡台、針刺し、火鉢、台子、重箱、牛車

台子と牛車は無かったなあ。



漆塗り、金彩、金具、組紐  
どれもこれも細かい。  
引き出しはちゃんと引き出せるし、  
扉も開くんだもの。



お椀の並びとか、適当だったなあ。  
あ、でも正月にお膳並べてたから、案外あったかも。





こどもの頃は、どうしてこんなものがついているのかと思ったけれど、  
こういうので遊んで、いろいろ覚えていくものだったんだろうな。



左側のが、子供の頃飾っていたのに近い。  
これにお琴とか、市松さんとか、、、。

三段目の官女は要らない気がする。



箱はかなり古そうだけれど、大事に扱われていたんだろう。  
とても綺麗なお雛さんだなぁ。



こちらはかなりボロボロ。  
男雛の扱って、こんなものなんだろう。



女雛の冠なんだけど、外して展示してあった。  
ひょっとしてサイズ合わない？

ちょっとお顔がきれいすぎるので、首をすげ替えたんじゃないかなって  
気がしている。



何度見ても圧倒される。



### つるし雛

おそらく、ひな人形なんぞを揃えられない一般家庭で、  
その代わりとして端切れなんかを縫い合わせて、手作りしたんだろう。

そういうの大好きだぞ。

いいなあ、これ。









---

掛け軸もよく見かける。









なんだか懐かしいな。  
膝から上のガラス障子のある、八畳間だった。  
床の間に壇を組んで、緋毛氈をしいて、お雛さんを飾ったっけ。

男の子だったんだけどなあ、、、。

写真集

「空と雲と、京都の路地は奥に深いです it」 <http://p.looklog.jp/book/82880>  
 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」 <http://p.looklog.jp/book/82643>  
 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」 <http://p.looklog.jp/book/82160>  
 「からくれないに ni」 <http://p.looklog.jp/book/81713>  
 「bleu, jaune, vermillon」 <http://p.looklog.jp/book/81111>  
 「H.45」 <http://p.looklog.jp/book/80229>  
 「Fly me to Paris Ⅰ～Ⅳ」  
 「紙王 こけのころも」 <http://p.looklog.jp/book/74864>  
 「空と雨と6月と」 <http://p.looklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」 <http://p.looklog.jp/book/73051>  
 「ネガティブズ」

写真集 「空と僕と自転車と ni」 <http://p.looklog.jp/book/72996>  
 写真集 「空と僕と自転車と」 <http://p.looklog.jp/book/72092>  
 写真集 「空と椿と木蓮と、そして花水木」 <http://p.looklog.jp/book/71344>  
 写真集 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」 <http://p.looklog.jp/book/70700>  
 写真集 「空と雲と、ときどき春の野をゆく」 <http://p.looklog.jp/book/70137>  
 写真集 「空と月と、夜桜デート」 <http://p.looklog.jp/book/69415>  
 写真集 「空と木と、ときどきの梅暦」 <http://p.looklog.jp/book/68722>  
 写真集 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.looklog.jp/book/65536>  
 写真集 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.looklog.jp/book/64153>  
 写真集 「空と木とたまに月」 <http://p.looklog.jp/book/62540>  
 写真集 「からくれないに」 <http://p.looklog.jp/book/61473>  
 写真集 「空と雲と、ときどき月」 <http://p.looklog.jp/book/36294>  
 写真集 「夢みる桜」 <http://p.looklog.jp/book/45286>

「黄金の表紙」

1.Lange

<http://p.looklog.jp/book/58662>

第1回 ～ 第41回

「黄昏の王因」

イーリアス編

<http://p.looklog.jp/book/49612>

アリシア編

<http://p.looklog.jp/book/51254>

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由 (わけ)」 <http://p.looklog.jp/book/31906>  
 「僕と彼女の選択の事由 (わけ)」 <http://p.looklog.jp/book/35498>  
 「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった。」 <http://p.looklog.jp/book/3610>  
 「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.looklog.jp/book/36617>  
 「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.looklog.jp/book/37238>  
 「僕と彼女と単純な関係式」 <http://p.looklog.jp/book/37731>  
 「僕と彼女と校庭で」 <http://p.looklog.jp/book/38209>  
 「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.looklog.jp/book/38797>  
 「僕と彼女のアリア」 <http://p.looklog.jp/book/39385>  
 「僕と彼女のインベリション」 (次回)

— その他 —

傘がない <http://p.looklog.jp/book/32717>  
 夕暮れの赤ちようちん <http://p.looklog.jp/book/32717>  
 いもうと <http://p.looklog.jp/book/32717>  
 ナマertime・ブルーズ <http://p.looklog.jp/book/32717>  
 危険なドライブリングマジック <http://p.looklog.jp/book/33630>  
 デフラグメント <http://p.looklog.jp/book/33116>  
 インフルエンス あのころの僕たち <http://p.looklog.jp/book/32752>  
 花舞い、名残り雪 <http://p.looklog.jp/book/32187>

銅画集 「ただ憧憧れだけを」 <http://p.looklog.jp/book/34472>

画集 「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.looklog.jp/book/39345>